

財務状況把握の結果概要（要約版）

団体名：安芸高田市

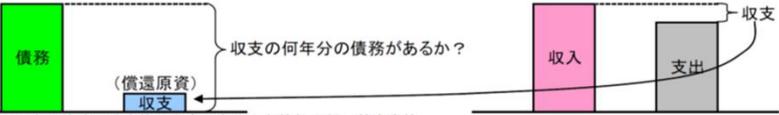
診断年度：令和6年度

診断年度の財務指標

債務償還可能年数(単位:年)

算式

実質債務 / 行政経常収支
家計に例えると・・・ローンを返済するのに何年かかるか



(注)実質債務＝地方債現在高＋有利子負債相当額－積立金等

安芸高田市の債務償還可能年数⇒

4.5年

診断基準

問題なし
(15年未満)

留意
(15年以上)

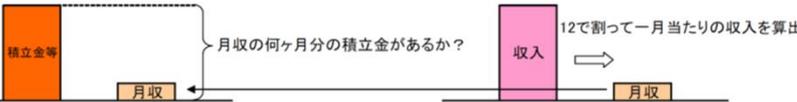
意義

1年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る

積立金等月収倍率(単位:月)

算式

積立金等 / (行政経常収入 / 12)
家計に例えると・・・預貯金が給与の何倍か



安芸高田市の積立金等月収倍率⇒

5.3月

診断基準

問題なし
(3月以上)

やや留意
(3～1月)

留意
(1月未満)

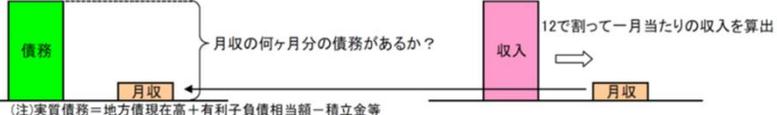
意義

一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る

実質債務月収倍率(単位:月)

算式

実質債務 / (行政経常収入 / 12)
家計に例えると・・・ローンが給与の何倍か



(注)実質債務＝地方債現在高＋有利子負債相当額－積立金等

安芸高田市の実質債務月収倍率⇒

7.3月

診断基準

問題なし
(18月未満)

やや留意
(18～24月)

留意
(24月以上)

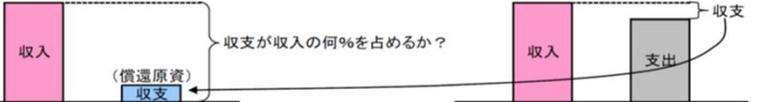
意義

一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る

行政経常収支率(単位:%)

算式

行政経常収支 / 行政経常収入
家計に例えると・・・ローンの返済に回せるお金はどのくらいか



安芸高田市の行政経常収支率⇒

13.3%

診断基準

問題なし
(10%以上)

やや留意
(10～0%)

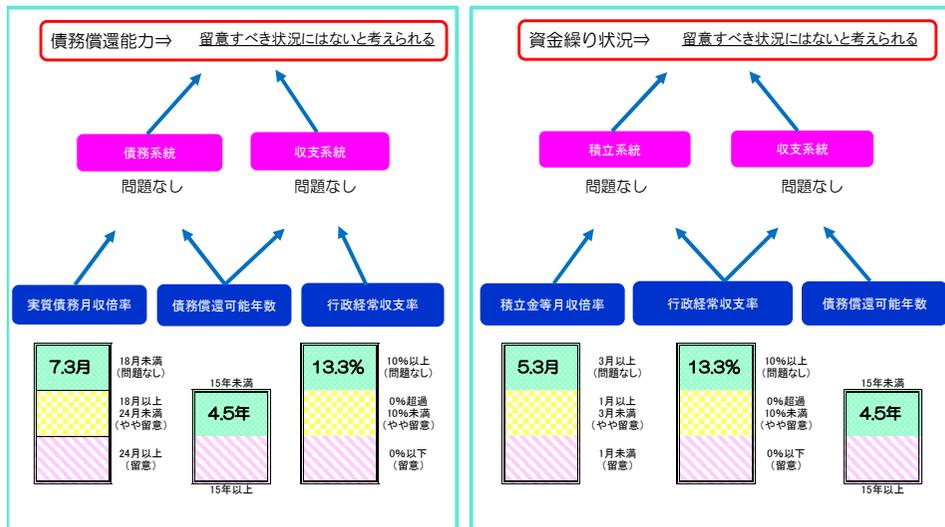
留意
(0%以下)

意義

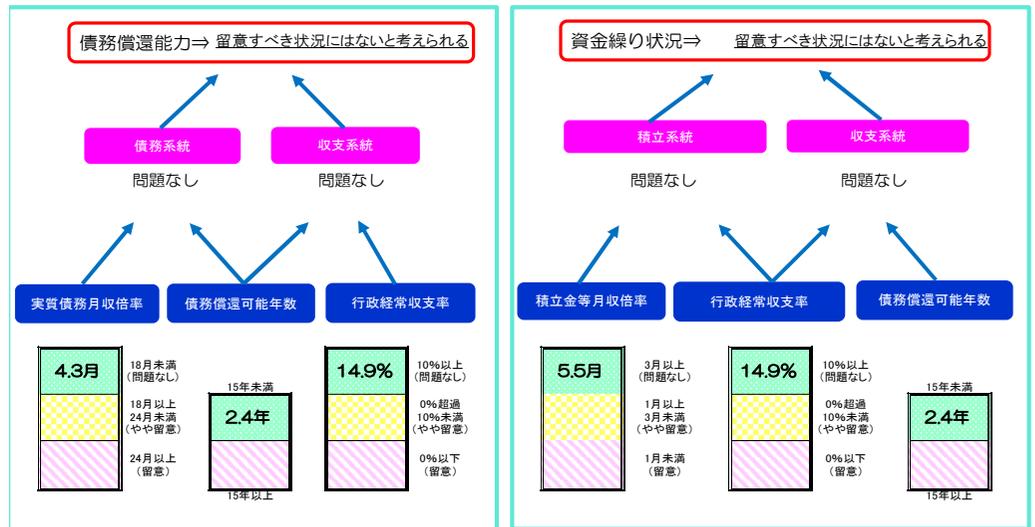
収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る

診断年度における償還確実性

令和6年度 【診断年度】



令和10年度 【将来見通し(計画最終年度)】



4つの財務指標のイメージ

(個人のおサイフに例えてみました。)

<p>じっつさいむげっしゅうばいりつ 実質債務月収倍率</p>	<p>実質的な借金（自身の借入 + 親族・知人等借入の保証 - 自身の預貯金等）を月収すべて（生活費ゼロで、飲まず食わず）返済に充てた場合、返済に何ヶ月かかるかを示しています。</p> $\frac{\text{自身の借入（ローン、クレジット等）} + \text{親、兄弟等、他の借入の保証} - \text{預貯金等}}{\text{年収（ただし臨時的な収入は除きます）} / 12\text{ヶ月}}$
<p>さいむしょうかんのうねんすう 債務償還可能年数</p>	<p>実質的な借金（自身の借入 + 親族・知人等借入の保証 - 自身の預貯金等）を年収から生活費を除いた残額で返済する場合、何年かかるかを示しています。</p> $\frac{\text{自身の借入（ローン、クレジット等）} + \text{親、兄弟等、他の借入の保証} - \text{預貯金等}}{\text{年収（ただし臨時的な収入は除きます）} - \text{生活費}}$
<p>つみたてきんとうげっしゅうばいりつ 積立金等月収倍率</p>	<p>月収の額で何ヶ月分の蓄え（預貯金等）があるかを示しています。即ち、突然収入が入らなくなった時に、何ヶ月生活できるかを示していることになります。</p> $\frac{\text{預貯金等}}{\text{年収（ただし臨時的な収入は除きます）} / 12\text{ヶ月}}$
<p>ぎょうせいけいじょうしゅうしりつ 行政経常収支率</p>	<p>年収に対する余裕資金の割合を示しています。即ち、自身の借入などの返済や預貯金に回せるお金はどのくらいかを示していることになります。</p> $\frac{\text{年収（ただし臨時的な収入は除きます）} - \text{生活費}}{\text{年収（ただし臨時的な収入は除きます）}}$

団体の財政を家計に例えると・・・

1年分の家計に例えた場合
※診断年度の年収を360万円と仮定し、各々を割り戻して算定。

安芸高田市

		令和6年度	令和10年度			令和6年度	令和10年度
①	1世帯年収	360万円	335万円	行政経常収入		17,568百万円	16,339百万円
(②)	(1世帯月収)	30万円	28万円	(行政経常収入÷12)		1,464百万円	1,362百万円
③	年間の生活費 (食費、電気代等)	312万円	285万円	行政経常支出		15,228百万円	13,902百万円
④ (=①-③)	残額 (マイナスは不足額)	48万円	50万円	行政経常収支		2,340百万円	2,437百万円
⑤	借金 (ローン、連帯債務等)	380万円	276万円	債務 (地方債、有利子負債相当額)		18,552百万円	13,468百万円
⑥	預貯金等	161万円	155万円	積立金		7,857百万円	7,540百万円
⑦ (=⑤-⑥)	実質的な借金	219万円	121万円	実質債務		10,695百万円	5,928百万円

財務指標は・・・

	1年分の家計に例えた場合	令和6年度	安芸高田市	1年分の家計に例えた場合	令和10年度	安芸高田市
債務償還可能年数 (=⑦÷④)	$\frac{219万円}{48万円}$	4.5年	$\frac{10,695百万円}{2,340百万円}$	$\frac{121万円}{50万円}$	2.4年	$\frac{5,928百万円}{2,437百万円}$
実質債務月収倍率 (=⑦÷②)	$\frac{219万円}{30万円}$	7.3月	$\frac{10,695百万円}{1,464百万円}$	$\frac{121万円}{28万円}$	4.3月	$\frac{5,928百万円}{1,362百万円}$
積立金等月収倍率 (=⑥÷②)	$\frac{161万円}{30万円}$	5.3月	$\frac{7,857百万円}{1,464百万円}$	$\frac{155万円}{28万円}$	5.5月	$\frac{7,540百万円}{1,362百万円}$
行政経常収支率 (=④÷①)	$\frac{48万円}{360万円}$	13.3%	$\frac{2,340百万円}{17,568百万円}$	$\frac{50万円}{335万円}$	14.9%	$\frac{2,437百万円}{16,339百万円}$